

令和6年7月度

## ネットパトロール記録

### 概要（傾向・事例等）

例年、夏が近づくと、海水浴や川遊び中の事故の報道が多くなります。事故に至らなくても、川の深みにはまったなどで「ヒヤリ、ハット」することもあります。県内青少年の SNS の投稿では、橋梁などの高所から飛び込む様子が掲載されていることがあります。7月度は3件ありました。NHKのWEBサイトに”水難事故 原因は？「飛び込み」に潜む危険 沈み込んだ先の“魔の時間”に何が・・・ 水中検証で迫る”という特集記事が掲載されています。（<https://www.nhk.or.jp/shutoken/articles/101/008/66/>）

記事によると、飛び込む際に声を出すと肺の空気が少なくなり、真水だと体が自然に浮いてくることはなく、自力で浮上する間に溺れてしまうことがあるようです。高所からの飛び込みは SNS が普及する前からありましたが、SNS でバズる（多くの注目を集める）ための演出として、アニメの決め台詞などを大声で叫びながら飛び込む様子も見られます。高所から飛び込む際は、安全のため深みを狙いますが、大声を出すことで別の危険に身をさらすこととなります。なかには、「テイク4」などとキャプションを付けて、撮影、投稿のため、飛び込みを繰り返したことをうかがわせるものもあります。

### 今月のおねがい

～ヒヤリハット ハイブリットの法則～



厚生労働省の「職場の安全サイト」には、「同じ人間が起こした 330 件の災害のうち、1 件は重い災害があったとすると、29 回の軽傷、傷害のない事故を 300 回起こしている。」と、ハイブリットの法則（ヒヤリハット）を解説しています。

（[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/yougo/yougo24\\_1.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/yougo/yougo24_1.html) より一部改変）

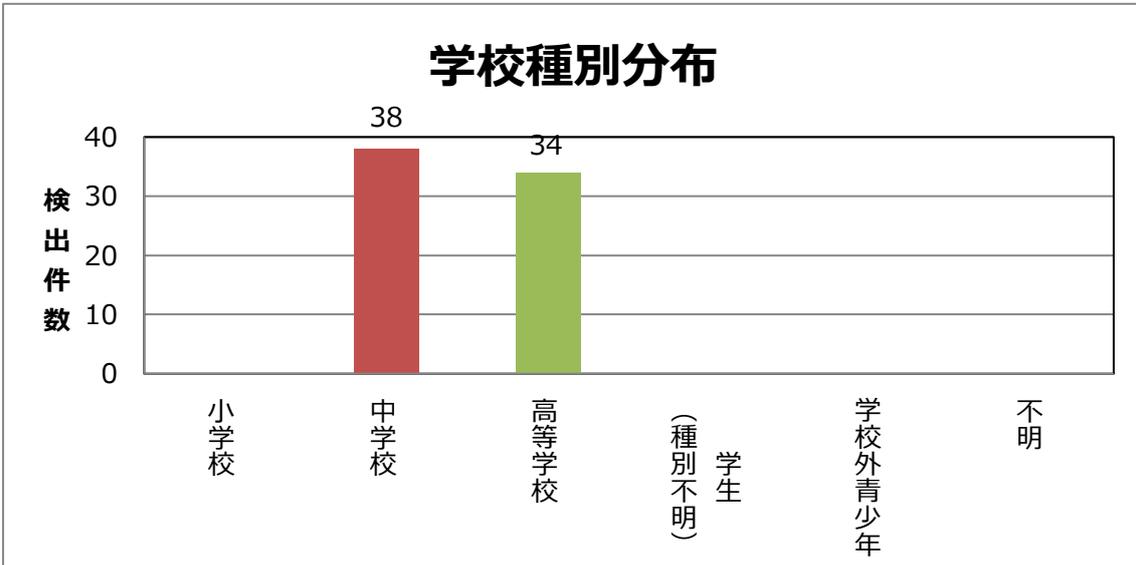
言い換えると、バズりを欲して何度も飛び込むうちに、重い災害に至ることがある、ということです。危険な行為を繰り返す青少年が身近なところであれば、注意喚起をお願いいたします。

### 検出件数

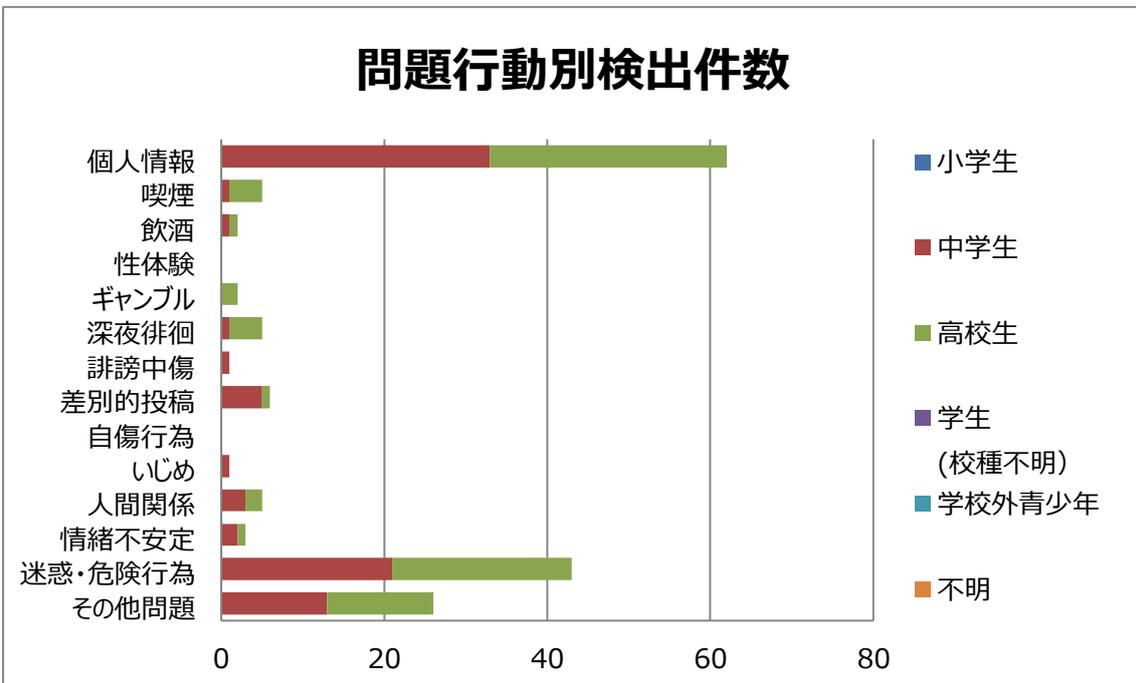
7月の検出件数は **72** 件でした。



### 学校種別検出件数

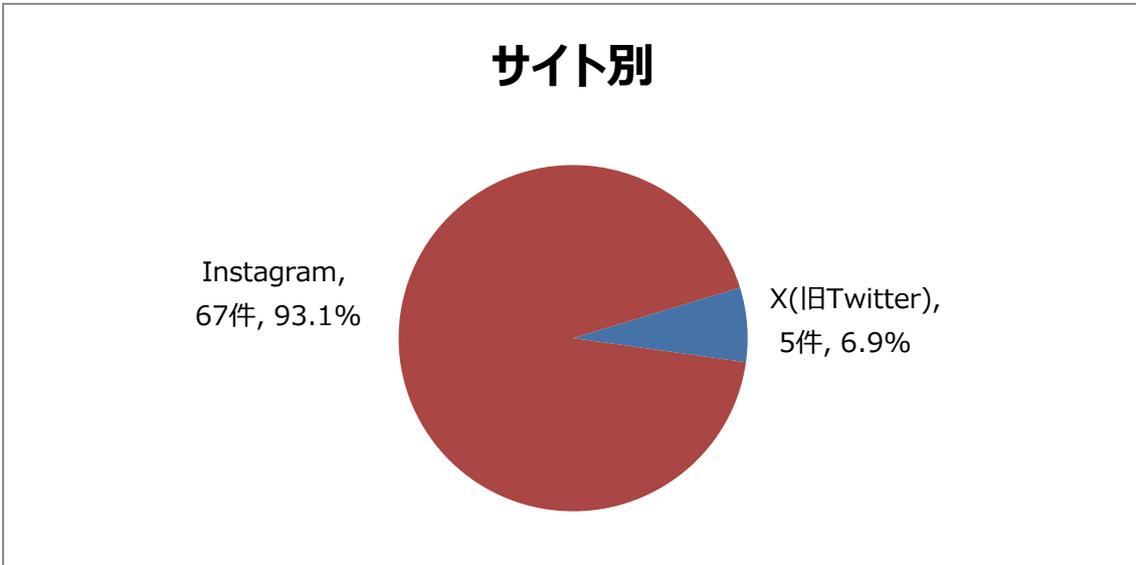


### 問題行動別検出件数





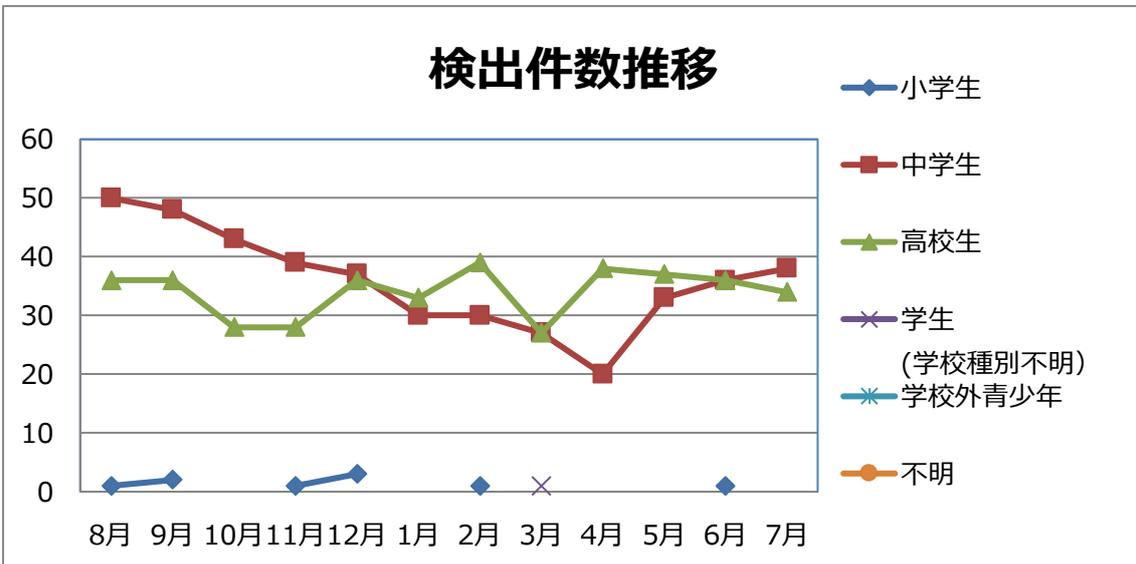
## サイト別



※四捨五入のため合計が100%にならないことがあります。



## 検出数推移



以上